

IGH

Imperial Guard Headquarters
RECRUITING BOOK

皇宮警察本部の
先輩情報はこちらから



皇宮警察本部

Imperial Guard Headquarters

皇宮護衛官の最前線レポート

これが皇宮護衛官の仕事だ！

護衛部

山下 亮 森岡 裕子

夢を叶えた、
若き白バイ隊員と
騎馬隊員。

警務部門

佐野 光海 青木 悠希

音楽で皇室と国民をつなぐ。
皇宮警察音楽隊。

警備部

辻本 晋資

皇室守護の
最前線と
なれ。

共鳴が生む、

皇室守護という絶対使命。崇高な使命を持った者は共鳴する。共鳴した者同士は強い絆のもと、連携する。

皇居や御所などの「場」を護る警備の任務。

皇室や国賓の直近にて「人」を護る護衛の任務。

警備や護衛を円滑にする警務の任務。

共鳴した者同士の連携が、何事もない平穏な日々を実現させる。

それは絶対予防警察としての使命。

これまでも、これから、皇室の長い歴史とともに。

連携。

皇居正門、坂下門を護り、
皇宮護衛官の最前線となる。
そのために。

スポーツを続けたい、
活かしたい
それが皇宮警察への志望動機

午前9時。24時間の業務を終えた辻本は、まぶしい太陽に目を細めた。当番の日は、夜を徹しての勤務だ。このあと12時まで駅伝大会に出場するための訓練を行い、午後と翌日は休みとなる。

中学時代から陸上を始め、スポーツ系の大学に進学。学生生活のほとんどの時間を運動に費やした辻本は、体力には自信がある。それを活かせる仕事として公安職を希望。警視庁や地元兵庫県警察など、幅広く就職活動をする中で皇宮警察に出会った。

皇室の方々をお護りするという名誉ある仕事にも惹かれたが、一方で、騎馬や柔道、剣道、テニス、スキーなど、自分が希望する訓練に参加できることを知る。その中に「駅伝」の二文字を見つけたとき、皇宮警察への志望動機はさらに高まっていた。

警備部

皇室守護の最前線となれ。

皇宮護衛官の最前線レポート
これが皇宮護衛官の仕事だ！

辻本 晋資 坂下護衛署

平成23年、皇宮巡査を拝命。
皇宮警察学校を卒業後、坂下護衛署に配属。
坂下門の警備。儀仗勤務のほか、特別警備隊にも所属し、集団警備の訓練も行っている。
平成25年に出場した駅伝大会では自己ベストを更新。
そのための訓練の中でチームワークの大切さに気づく。
将来の目標は側衛官として皇室の直近で護衛すること。

「儀仗勤務、
警備訓練、
逮捕術訓練、
駅伝訓練、
すべてが
実を結ぶときがある」

警備訓練

皇宮警察にとって
機動隊の機能を果たす特別警備隊は、
皇居内での突発事案に
対処するため設置された組織。
集団で統率がとれた動きをするために
集団警備の訓練が行われている。

儀仗勤務

皇居正門を警備する儀仗勤務。
通常警備以外にも、
皇室の尊厳を保つという使命があり、
服装も交代も儀式的だ。
優雅で威厳のある所作が、
見学する人々の心を魅了する。

各門の警戒警備

入門しようとする人々に対しては、
通行証や身分証の提示を求め、
持たない人は
用件を確認する。
一般人の立ち入り制限される
すべての門に皇宮護衛官の姿があり、
こうした業務を行っている。

皇室の顔ともいえる坂下門を
護る仕事に気が引き締まる

平成23年、皇宮警察に採用された辻本は、警察学校で教養を身に付けた後、坂下護衛署に配属となる。各護衛署に所属する護衛官の任務は、皇居、赤坂御用地、京都御所等を警備すること。また本部の警備部においては、天皇誕生日や新年一般参賀、園遊会などの行事の警備に必要な企画の立案、装備資器材の配備や開発運用も行う。

辻本が配属された坂下護衛署は、皇室行事を行う宮殿や宮内庁、一般に公開している東御苑などを管轄する部署。不審者に対する警戒警備、来訪者の確認が主な業務だ。皇居内の平穏を守る。それが辻本に与えられた使命。皇居の顔ともいえる坂下門は、天皇皇后両陛下をはじめ、海外からの賓客も利用される門だけに、気が引き締まる。

優美で荘厳な動きは
皇室の威厳を保つため

皇居正門、二重橋。儀礼服に身を包み、胸を張って美しく直立している辻本の姿があった。微動だにすることなく、優しさの中に厳しい眼差しで一点を見つめている。

皇宮護衛官は、2人1組の交代制で皇居正門を護る「儀仗勤務」を行う。もちろん警戒警備が主目的ではあるが、儀仗勤務には皇室の顔となる正門に立ち「皇室の威厳を保つ」という重要な使命が付加されている。

儀仗交代の時間。辻本の前に、交代する2人の皇宮護衛官が現れた。ここから交代の儀式が始まる。4人の息がぴつたりと合った優美で流れるような動き。正門前を訪れた観光客から感嘆の声が漏れる。見学者から「やっぱり、皇居は厳肅だな」と思ってもらうことが大切なのだ。わずか30秒ほどの儀仗交代のセレモニーに、儀仗隊員に求められるすべてが詰まっているといっても過言ではない。

日ごろのさまざまな訓練が
身を結ぶときがある

皇宮護衛官の任務を全うするためには、日常の訓練が欠かせない。皇宮護衛官は、4交代制の勤務の中で、時間を見つけてさまざまな訓練を行っている。

坂下門を護る辻本にとって、柔道や剣道などの武道に加え、危険な相手を制圧するための逮捕術の訓練は必須だ。殴りかかってきたり、武器を持って襲ってきたり、法律に違反した

者はその場で逮捕しなければならない。そのためには自分を防御しながら犯人を制圧する技術を訓練で磨き、得意分野を強化する。また、非常時に的確な動きができるようになるためには「平常心」が大切だ。そんな精神力を身につけるためにも、逮捕術訓練は欠かせない。

辻本は、特別警備隊にも所属している。都道



警防勤務

警察で唯一、消防活動を行うのも皇宮警察の特徴だ。
警防車（消防車）も配置され、万が一、火災が発生したときの消火にあたる。
火災が発生させないための予防活動にも余念がない。

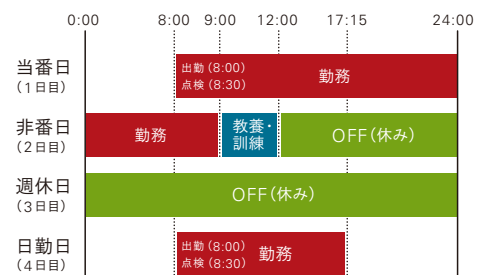


警戒警備犬訓練

皇宮警察には、皇居や御用邸などにおける不審物発見のため、
警戒警備犬が配備されている。
各所の警戒にあたることで、目に見えない敵を抑止する効力もある。

4 交替制勤務

勤務時間は、休憩時間を除き、
1週間あたり38時間45分である。
皇宮警察本部で勤務する職員のうち、
交替制勤務員は、当番日・非番日・
週休日・日勤日の繰り返しだが
基本的な勤務形態となっている。



駅伝に参加して チーム連携の大切さを知る

府県警察の機動隊にあたる部隊だ。出動服の
上にプロテクターとヘルメットを着用し、盾
を持って集団警備を行う。警備訓練では、集
団で統率がとれた動きをとって相手を制圧す
る訓練を行い、突発事案に備えている。

卒配後、辻本は念願の駅伝チームに所属。学
生時代に培った陸上の経験を活かせるし、日
ごろの訓練により、任務に必要な体力と気力

を同時に磨くことができる。

皇宮警察には、護衛官がやりたいことを支援
する仕組みがある。辻本の場合、部外大会に
出場したりする、自主的な訓練を行うことが
許された。大会の1ヵ月前からは、4交替
制の勤務を解かれ、毎日訓練に集中できる環
境となる。平成25年12月、関東警察駅伝・ロー
ドレース大会に出場した辻本は、自己ベス
トを更新した。

駅伝の訓練や大会への参加で辻本が学んだこ
とは、チームワークの大切さだ。駅伝は、自
分の能力を最大限に発揮して、次の仲間いた
すきをつなぐ。同じベクトルに向かってみん
なで力を合わせてはじめて成果が出せる。

仕事も同じ。警備の任務には一人一人が責任
を持つてあたるが、一緒に勤務している仲間
との連携プレーが大切だ。交代要員への引き
継ぎも徹底しなければならない。そう、駅伝
のたすきをつなぐときのように。

情報を共有することで、組織の勤務の効率が
上がる。駅伝大会への参加を通して、辻本は
大切なことに気づいたのだ。

天皇后両陛下が坂下門をご通過された際、
辻本の中に、「もっと直近で護衛したい」
という気持ち湧きおこった。目標は側衛官
になること。その夢をかなえるために、辻本
は警備の仕事と訓練に真摯に取り組む、仲間
からも国民からも信頼される人間になる努力
をしている。体力と精神力を兼ね備えた一人
前の側衛官として活躍する辻本の姿が見られ
る日は、そう遠くない。

子どものころから憧れていた 白バイ隊員になれた日

子どものころから白バイ隊員に憧れていた山
下は、商業高校卒業後、その夢をかなえるべ
く専門学校で公務員になるための勉強に励ん
でいた。そこで皇宮警察のことをはじめて知
る。「皇室守護という絶対使命。なんて誇ら
しい仕事なんだ」。山下は、たちまちその魅
力に取りつかれた。

平成20年2月に皇宮警察学校を卒業。坂下護
衛署に配属となる。警備の任務や訓練に熱心
に取り組むこと5年。平成25年4月に護衛
部護衛第一課の機動護衛担当へ異動、晴れて
念願の白バイ隊員になることができた。

山下の仕事は、天皇后両陛下、皇太子同妃
両殿下が地方に行幸・行啓される際に、お車
の直近を白バイで護衛するという名誉ある仕
事だ。しかも、公式な行幸・行啓に限定され
ている。それだけに責任は重い。

白バイ隊員の任務は、当日の護衛だけではな
い。何ヵ月も前から御訪問先の県警との打ち
合わせが始まる。まずは、お護りするための
動きやタイミングを綿密に計画し、連携のあ
り方などの調整を行う。次に、実際の道を走
り危険な場所などを確認するための実査があ
り、数週間前には本格的なハーサルを実施。
万全の態勢で当日を迎えるのだ。

皇室の直近で護衛する側衛官の仕事は、犯
人を逮捕することが目的ではない。天皇陛下

護衛部

皇宮護衛官の最前線レポート
これが皇宮護衛官の仕事だ！

夢を叶えた、

若き白バイ隊員と

騎馬隊員。

天皇后両陛下・皇族各殿下の
一番近くで護衛する。
護衛のプロフェッショナル
としての誇り。



森岡 裕子 護衛第一課

平成20年、皇宮巡査を拝命。
皇宮警察学校を卒業後、
坂下護衛署での2年間の勤務を経て、
護衛第一課に配属。側衛の仕事のほか、
信任状捧呈式では騎馬隊員として活躍する。

騎馬訓練

信任状捧呈式の際に各国の大使が乗られる
儀装馬車を騎馬隊が護衛。
皇居内に馬場があり、日ごとの訓練はもちろんのこと、
式典の前には重点的に訓練が行われる。

国賓等の護衛

海外から訪れる国賓や
大使の皇居参内時の護衛も、
護衛部の任務の一つ。
側車隊、騎馬隊なども
編成されることがあり、
見た目も優雅。
パレードのような華やかさだ。



「その努力は必ず誰かが見ている。
護衛官としての基礎を怠らず
努力を続ければ、道は開ける」

たり、関連部署に紹介してくれたり、組織
が訓練の特別プランを考えてくれたりと、
そこにはさまざまなサポートがあった。得
意分野を磨き、側衛術を磨き、努力し続け
た人の夢は必ずかなう。それが皇宮警察な
のだ。



白バイ訓練

朝7時30分から1時間の集合訓練。通常業務の間を縫って個人的に自主訓練を重ねることでバイクのスキルを高める。
外部インストラクターに指導を受けることも。

山下 亮 護衛第一課

平成19年、皇宮巡査を拝命。
皇宮警察学校を卒業後、
坂下護衛署で警備の任務に就く。
平成25年には、護衛第一課に配属されて、
憧れの白バイ隊員となる。

のお車に近づこうとする人や車を制して、
未然に防ぐことが求められる。これが、皇宮
警察の絶対予防警察たる所以だ。
一方、皇宮警察は、人が何かを起こすかもし
れないということを予測しながら、それを起
こさせないようにすることに注力する。それ
も笛を吹いたり拡声器で呼び掛けたりするこ
となく、態度だけで制して、相手の意志をく
じけさせるのだ。ゴールは「何もない」こと。
物事を発生させない。あくまでも予防が重要
な任務であるのが皇宮警察の特徴だ。

側衛官に求められる 高度な技術を磨くために

側衛官には、まさに今飛びかかろうとしてい
る人を素早く察知し、大きな動作をすること
なく（周囲から気付かれることなく）、相手に
対して機先を制するという高度な技術が求め
られる。もちろん天皇皇后両陛下はじめ皇族
の方々に近づく人は悪意のある者だけではな
い。善意の人がお車に近づいた場合などは、
さりげなく注意を促すなど細かな配慮も必要
だ。それらは、全て側衛術訓練で磨かれる。
さらに、白バイ隊員はバイクのスキルも高め
ていかなければならない。山下は白バイ全国
大会の特別訓練員として、日々訓練を行って、
大会のスラローム競技では好成績をマーク。
今後は、さらに上位を目指す。

皇居を馬車で訪れる 各国の大使を騎馬で護衛

山下の1年後輩にあたる森岡は、平成20年

4月の採用。皇宮警察学校を経て坂下護衛
署で2年半勤務。平成23年4月、護衛部護
衛第一課に配属となった。
大学時代に部活で乗馬経験がある森岡は「就
職してから馬に乗れるとは思っていなかった」
と就職活動を振り返る。皇宮警察の採用
ボスターの写真に、凛々しい制服に身を包み、
さっそうと馬に乗っている皇宮護衛官の姿が
あったことが、応募のきっかけとなった。
側衛官になってからは、天皇皇后両陛下の側
近で護衛の業務を行う一方、各国の大使が馬
車で皇居を訪れる信任状捧呈式の際には、騎
馬隊として大使の護衛を務めている。

山下も森岡も若くして側衛官になることがで
きたのは、やりたいことを公言していたから。
白バイや騎馬の先輩たちが相談に乗ってくれ





皇室の方々と
国民の心をつなぐ

皇宮警察音楽隊

園遊会などの行事で演奏を行う
皇宮警察音楽隊。
一般の人から聴く機会として代表的なのは、
皇居・東御苑の芝生で春と
秋に月1回開催される
「ランチタイムコンサート」。



警務部門

皇宮護衛官の最前線レポート
これが皇宮護衛官の仕事だ！

青木 悠希 赤坂護衛署 兼 皇宮警察音楽隊

平成23年、皇宮巡査を拝命。
皇宮警察学校を卒業後、赤坂護衛署に配属。
音楽隊でテナーサックスを担当。テレビで見たことがある
園遊会で自ら演奏できたことに感激する。

佐野 光海 赤坂護衛署 兼 皇宮警察音楽隊

平成21年、皇宮巡査を拝命。
皇宮警察学校を卒業後、赤坂護衛署に配属。
警備の任務の傍ら、皇宮警察音楽隊での演奏活動に力を入れる。
ポスターづくりなど特殊な才能ももつ。

園遊会などの皇室行事をはじめ 年間約60回もの演奏活動

皇宮警察の警務課には、音楽隊が設置されている。昭和27年、サンフランシスコ講和条約が締結され、日本が本当の意味で独立した記念の年。天皇皇后両陛下が主催される園遊会で、洋楽演奏をしてもらえないかという依頼が宮内庁から皇宮警察にあり、皇宮警察音楽隊が発足した。現在では園遊会などの皇室行事をはじめ、皇宮警察主催のコンサート、各都道府県警察や警察協会が主催する全国警察音楽隊演奏会など、各地で演奏活動を行っている。東日本大震災の被災地を訪問したり、皇居の清掃を行う勤労奉仕団の方々のために演奏を行ったり、小学校で体験演奏会を催したり、皇居・東御苑の芝生で開催されるランチタイムコンサートで来園者に披露したりと、その活動は年60回を超えるというから驚きだ。隊員の数は約20名。その中に、若手皇宮護衛官、佐野と青木の姿があった。

音楽隊の使命を胸に 誇りを持って演奏する

佐野は、幼稚園のときからエレクトーンを習い、中学・高校ではトランペットを演奏し、音大に入学したあと一般の大学に転入した。青木は4歳からピアノをはじめ、高校・大学ではコントラバスを、音楽隊ではテナーサックスを担当している。二人とも、子どものころから音楽には精通していたが、皇宮護衛官を志望したのは、決して音楽がやりたかったからではない。佐野は、もともと正義



感が強く、人を守りたいという気持ちが強かった。青木は両親ともに公務員で、民間で働くイメージが湧かなかったこと、中学生のときに剣道の経験があり、それを活かしたいと思っていた。就職活動では公務員の公安職を強く志望。中でも皇宮警察は特殊性があり、皇室をお護りするという崇高な使命に共鳴したことが応募のきっかけとなった。佐野は平成21年、青木は平成23年に皇宮巡査を拝命。皇宮警察学校卒業後は、ともに赤坂護衛署に配属された。経験者の二人は皇宮警察音楽隊員に指名され、警備の任務との兼務で音楽隊活動が続けている。「慣れ親しんだ音楽を続けられることはうれしいけど、皇室をお護りするという任務にどうつながるのか」と疑問に思ったこともあったが、音楽隊の活動を続けるうちに、その必要性や意義を理解できるようになっていった。音楽隊は演奏を通して皇室の方々と国賓の方々、一般の方々をつなぐ役割をしている。皇宮警察の広報にもつながっている。それを理解した二人は、このやりがいがある重要な任務に誇りを持って臨んでいる。

少数精鋭だからこそ チャンスは無限大



皇宮護衛官は国家公務員の「公安職俸給表（一）」が適用されます。

初任給 皇宮護衛官採用試験（大卒程度）により採用された者

232,696 円（学歴にかかわらず）

皇宮護衛官採用試験（高卒程度）により採用された者

190,570 円～221,250 円（学歴に応じ）

これとは別に、扶養・住居・通勤・ボーナス（年2回）などの各種手当も支給されます。

勤務時間・休暇制度

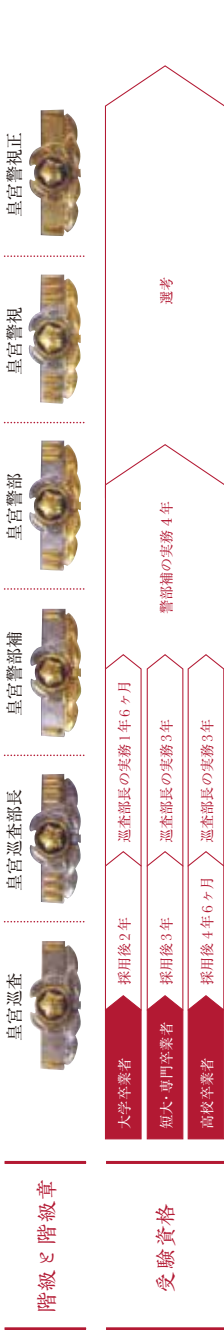
勤務には日勤制勤務と交替制勤務があり、1週間あたりの勤務時間は38時間45分（週休2日制）となっています。休暇は年20日の年次休暇（4月1日採用の場合、採用の年は15日）。残日数は20日を限度として翌年に繰り越し）のほか、病欠休暇、特別休暇（夏季・結婚・出産・育児・忌引・ボランティアなど）、介護休暇があります。また、育児休業制度により育児に専念することも可能です。

福利厚生

警察共済組合の保険、年金等における共済制度が充実しています。また、全国各地の警察共済施設などを利用できるほか、共済組合が提携している各種福利厚生施設を利用することもできます。

キャリアプラン

皇宮警察本部では学歴や性別に関係なく、昇任試験に合格することにより、上位階級への道が開かれています。また、警察庁・他警察本部などへの出向、国内・海外での各種研修等によって、皇宮護衛官としてのキャリアアップを全面的にサポートしています。



研修制度

皇宮警察学校を卒業した後、武道の指導者講習をはじめ、海外での語学力、騎馬技能、白バイ技能などの研修も行っています。このほか、実務能力を向上させるため、護衛専科、鑑識専科、情報管理専科などの各種研修制度が整っています。

宿舎

各勤務地の近くに独身宿舎、家族宿舎ともに設置・整備されています。

出向・派遣

経験や階級に応じて、警察庁や宮内庁、他警察本部へ出向・派遣されるチャンスがあります。

皇宮警察ホームページ

皇宮警察本部の情報や試験の日程などを公開しています。

http://www.npa.go.jp/kougu/toppage.htm



IGH

Imperial Guard Headquarters
RECRUITING BOOK

皇宮警察本部の
採用情報はこちらから



皇宮警察本部

Imperial Guard Headquarters

皇宮警察学校

皇宮護衛官になれる！ その第一歩！

皇宮守護を目的とした唯一の警察組織

皇宮警察とは何か？

Question

ここが知りたい！
皇宮警察のこと。

Interview

護衛官が語る
皇宮警察の魅力。

ある皇宮護衛官の物語

「初心忘るべからず」

皇室守護を目的とした 唯一の警察組織、 それが皇宮警察。

皇室守護を行う皇宮警察本部。職名は皇宮護衛官。

その名前から、あなたはどんなイメージを抱きますか？

厳しい規律があり、一秒たりとも気を抜けない、堅苦しい印象でしょうか。

もちろん使命は崇高であり、任務には大きな責任が伴います。

しかし、実際に働いている先輩たちはイキイキと輝いています。

乗馬、スキー、テニス、登山、英会話、音楽など

やりたいことを仕事にできる、やりがいのある職場でもあります。

他に類のない唯一の組織だからこそ

普通では考えられないオモシロさがある。

かつこいい、だけじゃない

皇宮警察本部の魅力をたっぷりと紹介します。

皇

宮警察本部は、天皇皇后両陛下や皇族各殿下の護衛と、皇居、御所、御用邸などの警備を専門に行う警察です。歴史は古く、明治19年、宮内省に皇宮警察署として誕生しました。その後、幾多の組織的な変遷を経て、昭和29年新警察法制定に伴い警察庁の附属機関となり、「皇宮警察本部」と改称。現在に至っています。皇室守護を専門に行う国家機関として、大きな使命と伝統を持つ組織です。

職員は、皇宮護衛官、警察庁事務官および警察庁技官で構成され、身分はいずれも国家公務員です。皇宮護衛官が所属する皇宮警察本部には、大きく分けて二つの仕事があります。一つは「護衛」。天皇皇后両陛下や皇族各殿下をいかなる状況下でも確実にお護りするのが任務です。また、国賓や海外の大使などの皇居参内時における護衛も行っています。もう一つは「警備」。日常の警備により、皇居や御所、御用邸などへの不審者の侵入を防ぎます。また、一般参賀などの儀式や宮中行事の際に、何事もなく平穏に終わらせるように警戒・警備することも大切な任務です。

本部内の組織構成は「警務部門」「警備部」「護衛部」の3つに分かれています。警務部門は、皇宮警察本部の人事や総務などを担当。音楽隊も警務部門に設置されています。警備部は、皇居、赤坂御用地、京都御所や正倉院などの警備を担当。皇室行事の警備の企画や、警戒警備の現場指導、装備資器材の管理・開発等の運用にあたります。護衛部は、天皇皇后両陛下や皇族各殿下のご身辺の護衛を担当。白バイや騎馬で護衛にあたるほか、行事の際には各都道府県の警察と連携して任務にあたります。

組織図

皇宮警察本部の組織は2部10課、4護衛署及び皇宮警察学校によって構成されています。護衛部は天皇皇后両陛下・皇族各殿下の護衛を担当しており、警備部と4護衛署が皇居・赤坂御用地・各御用邸・京都御所及び正倉院などの安全を確保するための警備を行っています。



勤務地

勤務地は主として東京都にある皇居及び赤坂御用地ですが、下図のように、1都1府4県に御用邸などの勤務地もあります。



すべての基礎が、
この学び舎にある。

皇宮警察学校は、皇宮警察の任務を果たすことができる人材を育てる養成機関。「座学」と「術科」のカリキュラムのほか、消防訓練や日本文化に関する情操教育も行われます。在学期間は、大卒者が6ヵ月、その他の者は10ヵ月です。卒業後はそれぞれの護衛署に配属され、3ヵ月は現場で実習。その後、再度入校し、より実戦的な教養訓練の中でレベルアップを目指します。全寮制による団体生活で仲間との絆を深め、組織活動やチームワークについて学ぶことも、入校の重要な目的の一つです。

剣道

拳銃訓練

逮捕術

騎馬訓練

情操教育

教養、武道、日本の文化。

皇宮護衛官に必要なものを身につける。

教養訓練として、憲法・警察法等の基礎学科や、皇室に関する知識、武道、逮捕術、拳銃操法、和歌・書道・華道・茶道といった情操教育、英会話などが行われます。武道は不可欠ですが、採用時は多くが未経験者ですから、安心して入校してください。

同じ釜の飯を食った、絆。

皇居内の緑豊かな環境の中に、男性寮と女性寮があり、卒業まで全員がここから通学します。生活に必要なものは全て完備。同じ時間を共有した同期とは深い絆で結ばれます。

1日のタイムスケジュール

6:00	日朝活動	起床 点呼 朝食 寮から学校へ ホームルーム
9:00		授業
11:50		1時限目 (80分) 授業準備 (10分)
12:50		2時限目 (80分) 昼食・休憩・準備
17:10	授業	3時限目 (80分) 授業準備 (10分)
17:15		4時限目 (80分) 授業準備 (10分)
		5時限目 (80分) 授業連絡
23:00		課外活動 清掃・指示 夕食・入浴 自主活動 点呼 消灯

皇宮護衛官に求められる知識や技術、心構えを習得する皇宮警察学校。
一年半から2年の徹底した養成期間を通して、皇宮巡査たちはたくましく成長します。
寝食をともにした同期との間に生まれる深い絆。それは、かけがえのない財産となるでしょう。

皇宮警察学校

護衛官になれる！ その第一歩！

この学び舎で、
文武を得る。
チームを知る。

試験

合格し、皇宮護衛官として採用されると、皇宮巡査に任命され、全員が皇宮警察学校に入学。ここで、業務に必要な知識や技能、体力、皇宮護衛官に必要な心構えを身につけます。「座学」では、職務倫理、語学、刑法などの法学、行政法、警察実務などを習得。「術科」では、柔道、剣道、弓道などの武道のほか、基本動作である敬礼や立ち方を学ぶ点検教練、逮捕術、拳銃の取り扱い方法などを学びます。また皇宮警察では自前の消防隊を有しているため、消火活動などの警防訓練も実施。体力の向上に努めています。さらに、和歌や茶道、華道など、和の教養を深める教育にも注力。乗馬も全員必須となっています。皇宮警察学校での授業を通して、日本を代表する皇居や御所などを警備するにふさわしい品位と技術が磨かれていくのです。皇宮警察学校は全寮制。在学中は全員で団体生活を行います。皇宮護衛官の任務はチームワークです。半年から10ヵ月の寮生活を通して、組織として活動することの大切さを学びます。自律、協調性、向上心が求められる皇宮警察学校での生活は、楽しいことばかりではありませんが、そこには助け合いながら一緒に切磋琢磨し合える仲間がいます。「同じ釜の飯を食った」同期は、つらいときや悩んだときに助けてくれる貴重な存在。そんな仲間との絆を深めるためにも、団体生活の体験は欠かせません。先輩たちは、皇宮警察学校での日々はとても充実したものだったと言います。将来の夢や目標に向かって、日々成長していく自分を実感できるでしょう。すべてはここからはじまります。

「天皇皇后両陛下のお姿を
拝見するだけで緊張感が」



皇居の中で立番をしていたときに、朝の御散歩中の両陛下に会釈されたことがあります。敬礼するだけで精いっぱいでしたが、言葉にはできないほど感激。つらいこともあります。奉職してよかったと思える瞬間でした。

佐々木 梨衣 吹上護衛官 警戒係員 皇宮巡査

「皇居と国民の
かけ橋のような存在です」



私たち皇宮護衛官は、皇居を訪れる人たちにとって最初に接する皇居の人。立居振舞一つ一つが皇室に対する印象を左右してしまいます。笑顔忘れず、警戒勤務はしっかりと。「外柔内剛」の気持ちで勤務に臨んでいます。

川野 渚 坂下護衛署 警戒係員 皇宮巡査

「皇室をお護りする任務に
身が引き締まります」



皇宮警察の人事を担当しています。私にとって皇室をお護りする仕事そのものが誇りですね。皇宮警察の歴史のわずかの間だとしても、崇高な任務をいただいて、その一端を担っていることに身が引き締まる思いです。

塚田 昭宏 警務課 人事第一係長 皇宮警部補

「長年受け継がれてきた
伝統が、私たちの誇りです」



皇室をお護りすることにおける想いは、側衛でも警備でも同じです。部門や階級を超えて同じ目的、同じ気持ちを持ちながら一体となって任務にあたる。それが120年以上受け継がれてきた伝統であり、私たちの誇りです。

堂高 賢 護衛第一課 側衛官 皇宮警部

Interview

護衛官が語る
皇宮警察の
魅力！

一般的にはあまり知られていない
皇宮警察という組織。
人のこと。職場のこと。何を心得て成長できるのか。
魅力を8人の先輩に語っていただきました。

「連携して活動できる
チームワークが自慢です」



安心して働ける場所です。福利厚生や設備が整っていることもありますが、何よりも全員が「皇室をお護りする」崇高な使命のために一生懸命仕事をしているところ。チームワークがしっかりしていて、良い職場だと思います。

高橋 麻実 護衛第二課 側衛官 皇宮巡査部長

「警察犬を訓練して
予防警察の最前線で活躍」



私は警察犬担当です。皇宮警察は予防警察なので、事件や事故が発生しなくても警察犬が活躍する場面は多い。平素の訓練で警察犬とコミュニケーションを取り、いざというときに連携がとれた活動ができるよう心がけています。

原田 卓尉 警備第二課 爆発物対策係主任 皇宮巡査部長

「やりたいことを活かせる
チャンスがあります」



秀でた技能や知識があれば、それを活かすチャンスがあります。乗馬でも英会話でもバイクでも、もちろん武道でも何でもいい。目標を持って努力していけば道が開ける。それが皇宮警察の最大の魅力です。

浅井 誠 警務課 次席 皇宮警視

「自分の得意分野が
仲間ために役立つこと」



皇宮警察のIT担当です。自分が開発したシステムが使われて、皆さんから「楽になったよ」と言われることが仕事のやりがいですね。ITの世界は日進月歩ですから、専門書等を読んで、常に技術向上に努めています。

岸本 亮 企画監察課 企画係主任 皇宮巡査部長

白バイに乗ることはできますか？

A. やりたいことや夢を
かなえられる職場です。

白バイ隊員になりたいという子どものころからの夢を、採用6年目にかなえた職員もいます。また、音楽や乗馬、テニスやスキーなど得意分野を活かして皇室をお護りすることもできます。自分の努力次第で、やりたいことや夢が、かなえられる職場です。

求める人物像は？

A. 体力と気力を
兼ね備えた人材です。

どんな仕事でも同じだと思いますが、まずは健康であること。体力がなければ何もできません。また、「おもしろそうだからこの仕事を選んだ」というのではなく、「公安職の仕事がしたい!」という強い信念を持っている方に応募していただきたいですね。

同期との交流はありますか？

A. 強い絆で結ばれた同期が
切磋琢磨しています。

皇宮警察では、採用された後に全寮制の皇宮警察学校に入学し、基礎を身につけたうえで任務に就きます。学校での団体生活で生まれるのは、寝食をとにした仲間との強い絆。良き友でありライバルである同期との交流が、あなた自身の成長につながります。

夜の警備もありますか？

A. 交替制勤務員は
夜間勤務もあります。

勤務時間は、休憩時間を除き、1週間あたり38時間45分です。皇宮警察本部で勤務する職員のうち、4交替制勤務員は、当番日(8時30分～翌9時)、非番日(9時以降OFF)、週休日(終日OFF)、日勤日(8時30分～17時)を繰り返して勤務します。

Question

ここが知りたい！
皇宮警察のこと。

皇宮警察は一般の警察とどこが違うの？
どんな職場なの？
誰でも試験を受けられるの？
夢や目標を叶えられますか？
そんな気になる質問の数々を採用担当者にぶつけてみました。
勤務体制は？

職場の雰囲気はどうですか？

A. 和気あいあいとした
雰囲気です。

意外かもしれませんが、職場内は和気あいあいとした雰囲気です。もちろん、仕事面では厳しく指導されますが、個人的な相談に親身になってくれる先輩や、落ち込んでいるときに励ましてくれる同期に囲まれて、楽しく充実した毎日を過ごすことができます。

転勤はありますか？

A. 転勤はありますが、
東京勤務が主となります。

自宅から通いたいという地元志向の学生が増えています。皇宮警察の職員は国家公務員ですので、一つの地域に留まることはありません。とはいえ、転勤は管轄区域(東京、栃木、神奈川、静岡、京都、奈良)内のみで、大多数の職員は東京で勤務しています。

どういう勉強が必要ですか？

A. 国家公務員専門職試験の
勉強がポイントです。

皇宮護衛官になるためには、国家公務員の専門職試験に合格する必要があります。その試験対策の勉強をしていただくのが、一つのポイントです。基礎能力試験だけでなく人物試験や身体検査、体力検査もありますので、心身ともに自分を磨いてください。

勤務する場所是一定ですか？

A. 日本全国のみならず
世界各国にも同行します。

皇居や御所などへの不審者の侵入を防ぐ「警備」の仕事は、勤務地は一定しています。天皇皇后両陛下や皇族各殿下をいかなる状況下でも確実にお護りする「護衛」の仕事は、皇族の方々に同行するため、日本全国だけでなく、世界各国が活躍の舞台となります。

女性の活躍の場はありますか？

A. 男女に関係なく
活躍できる職場です。

2014年4月には、皇宮警察の女性職員が全国警察の中で初めて1割を超える予定です。数字から見ると、女性に開かれた職場であることがわかります。男女の区別なく、職場を活性化していただけの人材に私たちは期待しています。

初心 忘る べからず

1995.1.17～
警務部門 教養課 佐藤俊輔の「初心」

神戸市垂水区の高台にある公園。眼下には住宅街が、その先には海が広がり、遠くには淡路島が見渡せる。当時9歳の佐藤俊輔は父と弟と一緒に、早朝から剣道の素振りの稽古に励んでいた。「さあ、そろそろ家に帰ろうか」。父に促され、公園の階段を降りていたそのとき、雷が落ちたように空がピカッと光った。次の瞬間、ゴゴゴッと音がして、眼下の街並みが砂埃をあげて海側から順番に盛り上がってくるのが見えた。

平成7年1月17日、午前5時46分52秒。阪神淡路大震災の発生だ。とっさに父親は二人の息子をかばうように覆いかぶさる。激しい縦揺れ。佐藤は「まるでトランポリンの上にいるようだった」とそのときを振り返る。揺れがおさまったあと、3人はかけ降りるような家に急いだ。「母は無事だろうか」「家はどうなっているのか」。はたして、家は以前の形をとどめていた。しかし、その揺れの激しさを物語るように、玄関前は鉢植えが割れて散乱し瓦礫の山。中に入ると、家具が倒れ食器棚から落ちた食器が割れている。家には靴をはいたまま入った。母は無事だった。怪我もない。「怖かったね。でもよかった」。

しかし、いったい何があったのだろう。これからどうなるのだろう。不安な中で余震は続く。しばらくは家族4人、揃ってリビングで過ごした。寝るときは大きなテーブルの下に佐藤と弟。その外側に両親が寄り添っている。佐藤はふと考えた。学校みんなはどうしているだろうか。

1ヵ月後、学校が始まった。同じ学校の生徒に被害者はいなかった。さらに2ヵ月後、通っていた剣道の道場に久しぶりに行ってみる。生徒の人数は半分に減っていた。両親が亡くなって引越

てしまった人もいる。けど……。残念ながら震災の犠牲になってしまった友達もいた。

強くていつも佐藤を打ち負かしていた上級生、剣道を始めたばかりなのに果敢に向かってきた低学年の子、そして「こいつには負けたくない」と思いながらも、なかなか勝てなかった同級生。もう二度と会うことができない。その事実、佐藤は子どもながら愕然とした。

現在、佐藤は皇宮警察本部の剣道特別訓練員だ。関東管区警察大会ではB組で優勝、全国警察大会では1部に所属するなど、全国の警察の中でも、皇宮警察の剣道チームには、なかなかの猛者が揃っている。佐藤もその一員として、厳しい訓練に励む毎日だ。

剣道を始めて22年、その間幾度となく挫折や壁に直面し、壁にぶつかることがあった。その度に、佐藤は「初心」を思い返し、剣道を習い始めたころのように素直な気持ちで先生や先輩の指導を仰ぐ。阪神淡路大震災のときの「ある出来事」が、今の佐藤の原点となっているからだ。

震災当日から復興への取り組みが始まった。助ける人も助けられる人も、誰もが悲しみや動揺の中にある。そんな中、安全確認のため住宅を回っている交番のお巡りさんが訪ねてきた。「大丈夫ですか?」と。しかし聞いてみると、そのお巡りさん自身、自分の家には帰れていないのだという。「我が身を顧みず、警察官が人のために活動する姿」を目の当たりにして、「将来、人のためになる仕事をする」と子どもながらに心に決めた。そして、これが佐藤の初心で

あり、原点となった。

大学卒業後の就職活動。佐藤はもちろん公安職を志望する。警察、消防、自衛隊などの選択肢があったが、亡くなった祖父が宮内省（現：宮内庁）に勤めていたことから、皇宮警察に興味を持った。また剣道着が白道衣・白袴の正装で「カッコいい」と思ったことも理由の一つだ。こうして、「人のためになる仕事」それも「皇室をお護りする仕事」を選び、佐藤は皇宮護衛官としての任務に就いた。

阪神淡路大震災でさまざまな経験をし、多くのことを学んだ佐藤。その中でもとくに感じたのは、自分は「生かされている」ということ。そして、震災以降「生かされている」ことの意義について何度も考えた。

やがて佐藤は自分なりの答えを見つける。それは、「生かされている」ということは、生きることについて懸命に考え、自分が生きる意義を見出し、毎日を懸命に生きていくことである」ということ。そして現在、佐藤は、皇宮護衛官として生きること、我が身を顧みず皇室と国民に尽くすことに自分の生きる意義があると考えている。

しかし、皇室と国民のために尽くすと考えていても、それは漠然としたものであり、なかなか実感することがない。このままの状態ではいいのかと考えることもあった。そして平成23年3月11日。東日本大震災が発生したのだ。

「すぐにでも被災地にかけつけて、人の役に立ちたい」。しかし、自分には大切な任務がある。ジレンマに陥っていたある日、テレビで天皇后両陛下が被災地をご訪問されている映像を見た。

天皇后両陛下をはじめ皇族各殿下は、避難所や被災地を何度もご訪問され、多くの人々を励まされている。人々が涙を流しながら「元気をいただきました」と口々に語る姿を目にしたとき、何かあったような気がした。

人々を元気にする皇室。その皇室をお護りする自分たち。普段行っている業務の全てが巡り巡って被災者の方々の笑顔や涙、元気や勇気につながっている。そのことに今さらながら気がついたのだ。

その瞬間、鳥肌が立ち、皇宮護衛官であることの誇りを実感した。このことがあり、佐藤は改めて皇宮護衛官として生きる意義を見出すことができたのだ。

佐藤にとつての生きる意義とは、皇宮護衛官として皇室と国民のために生きていくことであり、子どものころ、我が身を顧みず人のために役に立つ仕事がしたいと思ったことが皇宮護衛官としての初心だ。

「初心忘るべからず」という言葉があるほど、初心とは忘れやすく疎かになりやすい。しかし、この初心とは自分が苦しいときや頑張らなければならないときの心の支えになり得るものであると佐藤は思う。

「今後もこの初心というものを忘れぬよう、苦しいときやつらいとき、頑張らなければならないとき、そして自分の仕事に誇りを持つたときなど、折に触れて思い出すようにしたい」。阪神淡路大震災で混乱している最なか、9歳の頃に思った初心を忘れることなく、毎日を懸命に生き、一生涯この初心を貫いていこうと佐藤は誓った。



警務部門 教養課
佐藤俊輔

平成21年、皇宮巡查を拝命。警察学校卒業後、坂下護衛署に配属。2年半勤めたあと、皇宮巡查部長に昇任し、吹上護衛署で勤務。その間、剣道の訓練に励む。平成25年4月、教養課に異動。現在は剣道特別訓練員として、腕を磨くことに余念がない。